

No	Durasi	Keterangan/Lokasi	Dialog/Terjemahan
1	00:03:56 ~ 00:04:16	Ruang Kelas	<p>竹内先生: みんな席に着け。今日から新しい仲間が増えるぞ。 ()</p> <p>石田将也 (少年): んだよ? ()</p> <p>植野直花(少年): やったじゃん 石田,女子だって。 ()</p> <p>石田将也 (少年): 興味ね~し ()</p>
2	00:05:44 ~ 00:06:16	Ruang Kelas	<p>直花植野 (少年): あ~ 西宮さんって日本語しゃべれるの? ()</p> <p>川井みき(少年): もう 直ちゃん言い方 ()</p> <p>川井みき(少年): (ノートに書く音) 「何て呼ばれてるの?」 ()</p> <p>川井みき(少年): へえ “しょーちゃん” かあ ()</p> <p>直花植野 (少年): 石田と一緒にじゃん。しょーちゃんだって。 ()</p> <p>一旗島田 (少年): いいですねえ ()</p> <p>将也石田(少年): はあ? よくねえよ ()</p>

3	00:09:52 ~ 00:10:17	Taman Bermain	<p>石田将也 (少年): お前さあ, もっと うまくやらねえとウザがられちゃうんじゃないねえの? (_____)</p> <p>石田将也 (少年): 何だよ (_____)</p> <p>西宮 硝子(少年): ともだち (_____)</p> <p>石田将也 (少年): んだよ。気持ち悪(わり)い! (_____)</p>
4	00:10:27 ~ 00:11:15	Ruang Kelas	<p>喜多先生: きこえの教室の喜多です。皆さんは手話って知っていますか?手で話すと書いて手話。文字どおり手でおしゃべりするんですよ。ステキでしょ?そこで皆さん,硝子ちゃんとも~っとお話するために。毎日3分朝の会を使って手話を覚えましょう。 (_____)</p> <p>直花植野 (少年):先生 (_____)</p> <p>喜多先生: はい? (_____)</p> <p>直花植野 (少年): ノートに書くのじゃダメなんですか? (_____)</p> <p>喜多先生: 硝子ちゃんは手話を使ったほうが楽なんですよ。 (_____)</p> <p>直花植野 (少年): 私は手話より書くほうが楽なんですけど。 (_____)</p>

			佐原みよこ(少年): あの…私 手話 覚えます。 (_____)
5	00:11:34 ~ 00:11:45	Koridor	女子生徒 1: めっちゃ好き,かっこよすぎ (_____) 女子生徒 2: だね~ (_____) 川井みき(少年): あッ 来週ドラマ出るし見ないとだよ。 (_____) 直花植野 (少年): あいつ 服ダサくね? (_____) 川井みき(少年): ダメだよ 直ちゃん (_____)
6	00:11:58 ~ 00:13:07	Ruang Kelas	石田将也 (少年): 広瀬 お前そっち (_____) 直花植野 (少年): な~にやってんの 石田? (_____) 川井みき(少年): やめときなよ (_____) 直花植野 (少年): 石田 やりすぎだって

			<p>()</p> <p>石田将也 (少年): そお? こんなもんっしょ</p> <p>()</p> <p>一旗島田 (少年): 悪い奴~</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): いいじゃんいいじゃん。いい感じ~</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): う~わぁ誰が こんなことしたの? ひ~ど~い。私が代わりに消してあげるね。はいッ。できた。</p> <p>()</p> <p>西宮 硝子(少年): (チョークで書く音) ありがおう。</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): どういたしまして。行こうぜ。</p> <p>()</p>
7	00:13:18 ~ 00:14:03	Ruang Kelas	<p>竹内先生: オラ 石田, 授業中だろうが</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): はい すいません</p> <p>()</p> <p>竹内先生: え~っと, どこまでだったかな。あ~ どんな家に住んでたかというと一、地面に穴を掘って…</p> <p>()</p> <p>川井みき(少年): びっくりしたね</p> <p>()</p> <p>直花植野 (少年): ねえねえ 西宮さんこれってきホントは聞こえるってこと?</p>

			<p>()</p> <p>川井みき(少年): あッ だよね私も思ったあ</p> <p>()</p> <p>直花植野 (少年): ちょっと見せて</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): 植野~, それ何? 貸して。</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): よッ うわ何これ。汚ったね~!</p> <p>()</p>
8	00:16:01 ~ 00:17:46	Ruang Kelas	<p>校長: え~今日は皆さんにお話ししたいことがあります。今日 お休みしている西宮硝子さんのことです。実は昨日 西宮さんのお母さんから電話がありました。西宮さんの補聴器がこの5か月で8個も紛失または故障している。</p> <p>()</p> <p>校長: 学校でいじめられているのではないかと。この中で西宮さんに対するいじめやそれに近いイヤがらせを目撃した人はいませんか?</p> <p>()</p> <p>校長: 補聴器は1つ1つがとても高価な物だそうです。これ以上お父さんお母さんに迷惑がかかる前に…</p> <p>()</p> <p>竹内先生: 石田</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): ヘッ?</p> <p>()</p> <p>竹内先生: なあ、お前だろうが早く立てよ オラ~!!</p>

			<p>()</p> <p>石田将也 (少年): はい</p> <p>()</p> <p>竹内先生: 植野。隣で見てて どうだった?</p> <p>()</p> <p>直花植野 (少年): えっ…と…ちょっと からかってた的な…ことは あったかも</p> <p>()</p> <p>竹内先生: 島田は?</p> <p>()</p> <p>一旗島田 (少年): まあ 一応僕も やめとけとは言ったんですけどね。将也 聞かなかったし。</p> <p>()</p> <p>石田将也 (少年): えッ!? ちょっ… 島田! お前も一緒にやってたじゃん! 女子なんて すごい悪口 言ってたでしょ。ねえ! 特に 植野と川井が</p> <p>()</p> <p>直花植野 (少年): はあ!?</p> <p>()</p> <p>川井みき(少年): ひどい…私 そんなことしないよ。どうして…石田くん ひどいよ</p> <p>()</p>
9	00:18:20 ~ 00:19:04	Rumah Keluarga Ishida	<p>石田美也子: (電話に話す)はい…はい。本当に ご迷惑をおかけしてしまつて。はい… はい。失礼いたします。</p> <p>()</p> <p>石田美也子: 将也。待ちなさい 将也! 将也。先生から全部 聞いたよ。</p>

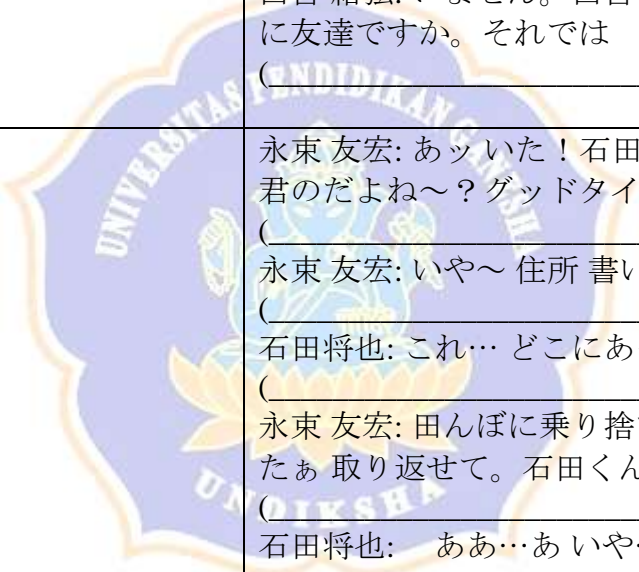
			<p>ちょっと…なんであんたそんなに濡れてるのよ ()</p> <p>石田将也 (少年): うっせえな。いつもの飛び込みだよ。 ()</p> <p>石田美也子: 待ちなさい。誰かに迷惑かけてない? A ()</p> <p>石田将也 (少年): 知らねえよ ()</p> <p>石田美也子: 先生の話 本当なの? ()</p> <p>石田将也 (少年): ああ 本当だよ! ()</p> <p>石田美也子: 西宮さんどこ行くから支度しなさい ()</p>
10	00:25:44 ~ 00:	Rumah Keluarga Ishida	<p>マリア: しょーたん 起きなさ〜い。朝ごは〜ん! ()</p> <p>石田美也子: しょーちゃん,起きなさ〜い! ()</p> <p>石田将也: マリア おはよ〜 ()</p> <p>マリア: しょーたん 起きた〜 ()</p> <p>将也の姉: いってきま〜す ()</p> <p>マリア: ママ いってらっしゃ〜い</p>

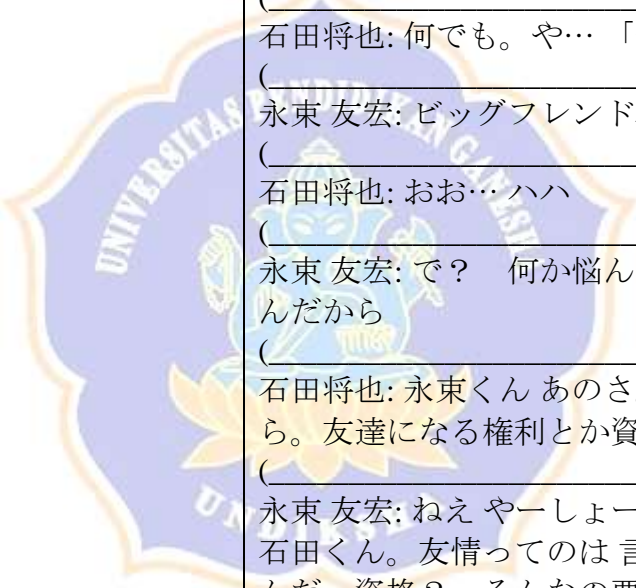
			(石田美也子: いってらっしゃい (石田美也子: はい しょーちゃん (卵をくれる) (石田将也: いただきま〜す (石田美也子: たくさん食べな (石田将也: 何 そんなニヤニヤしてんだよ (石田美也子: エヘッ だってさあバイト 頑張ったんだね。漫画も服も布団 まで売っちゃって。でも あんたのその気持ちがうれしい。 (石田美也子: ところでさ しょーちゃん, なんで死のうとしたの? (石田将也: エッ? あ…あッ いやまあ。これでもいろいろ あったんだ よ。でも 何ていうかもう… (石田美也子: やっぱり…やっぱり そうだったのねッ!? おかしいと思っ たのよッ!! 部屋は異常にキレイだし携帯はつながってないし! おまけに 何!? あの意味深すぎるカレンダー!! 4月からあとが ちぎれてて… (石田美也子: 死ぬのやめるって言わなきゃこれ 燃やすわよ。あんたが汗 水 垂らして稼いだ 170 万! おいッ! 聞いてんのか コラ! (
--	--	--	--

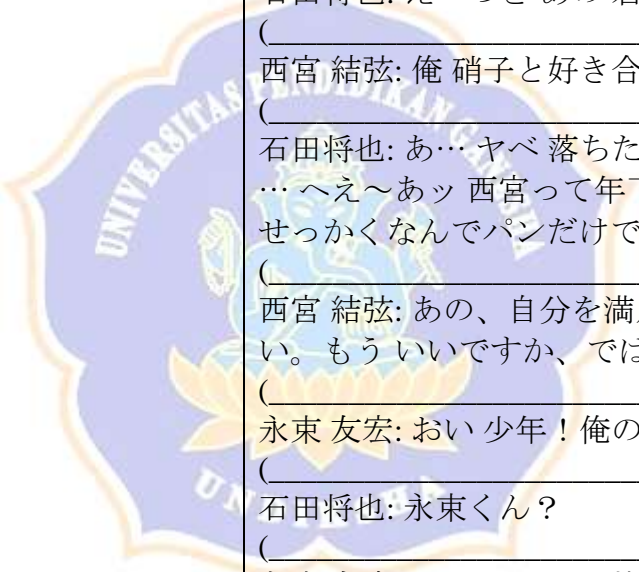
			<p>石田将也: え? ああ…何 バカなことを… ()</p> <p>石田美也子: バカは あんたよ。この親不孝者! ()</p> <p>石田将也: あッ ちょ ちょ… あの。ごめん! マジですいません。やめます。やめます すいません! マジで! ()</p> <p>石田美也子: 何を やめるだ。はっきり 言えッ!! ()</p> <p>石田将也: 死ぬの やめます! 死ぬの やめます! ()</p> <p>石田美也子: 本当? ()</p> <p>石田将也: ホントっす ()</p> <p>石田美也子: そう 絶対よ ()</p>
11	00:30:42 ~ 00:30:56	Ruang Kelas	<p>川井みき: 石田くん ()</p> <p>石田将也: はい。あッ 川井。 ()</p> <p>川井みき: 数学のノート 提出まだかな? ()</p> <p>石田将也: ああ ごめん、忘れてた。 ()</p>

			<p>川井みき: そっか。じゃあ早く出してね。 ()</p> <p>石田将也: ああ ごめん ()</p> <p>川井みき: うん ()</p>
12	00:32:54 ~ 00:33:41	Rumah Ishida	<p>石田将也: ただいま ()</p> <p>石田美也子: しょーちゃん… ()</p> <p>石田将也: うわわッびっくりしたあ。何だよ ()</p> <p>石田美也子: エヘッ今朝… ごめんね。しょーちゃんが必死に稼いだお金燃やしちゃって。でもさ、死ぬために稼いだお金なんて使いたくないよ。 ()</p> <p>石田将也: ごめん また稼ぐよ ()</p> <p>石田美也子: まあッありが。ゆ〜っくりでいいからね。さッおなか減ったよね? ごはん… ごはん… ()</p> <p>マリア: おなか〜! ()</p>

13	00:33:57 ~ 00:34:51	Parkiran Sepeda	<p>男子生徒: なあちょっとチャリ貸してくんね? ()</p> <p>永東 友宏: は? 一体何のために ()</p> <p>将也の声: あッ こないだの人 ()</p> <p>男子生徒: 忘れ物! 取りに行きてえの ()</p> <p>永東 友宏: は? 何なんですか? ご自身のを使えばいいじゃないですか ()</p> <p>男子生徒: おい~いいから頼んでんじゃん! ()</p> <p>永東 友宏: はッ? やめてください ()</p> <p>男子生徒: おい 離せよ ()</p> <p>永東 友宏: ちょっやめて。誰か助けて! 誰か~ッ! 助けてください! ()</p> <p>男子生徒: うるせえよ お前! 手え離せって! ()</p> <p>石田将也: あ… あの。俺の… 貸すよ ()</p> <p>男子生徒: え? マジ? 神じゃん ()</p> <p>将也の声: パクられていた ()</p>
----	---------------------	-----------------	---

14	00:35:28 ~ 00:35:46		<p>石田将也: に… 西宮さんいますか ()</p> <p>西宮 結弦: いません ()</p> <p>石田将也: いますよね… ()</p> <p>西宮 結弦: いません。西宮硝子はいません。失礼ですが、あなたは本当に友達ですか。それでは ()</p>
15	00:36:33 ~ 00:37:22		<p>永東 友宏: あッいた！石田く～ん！見てこれ！ 見てこれ！自転車！君のだよね～？グッドタイミング～！ ()</p> <p>永東 友宏: いや～住所 書いてあったからよかったよ ()</p> <p>石田将也: これ… どこにあったんだろ ()</p> <p>永東 友宏: 田んぼに乗り捨てられてた。いやめっちゃ捜した～。よかったあ 取り返せて。石田くん どうしたの？ ()</p> <p>石田将也: ああ…あいや… えっと君の名前… ()</p> <p>永東 友宏: ガ～ン！ 永東だよお。君の後ろの席なのに… ()</p> <p>石田将也: あッ あ… そうだ これいいパンだよ 食べる？永東くん ()</p>

16	00:38:10 ~ 00:39:18		<p>永東 友宏: どうかした? やーしょー ()</p> <p>石田 将也: 何でも。や… 「やーしょー」 ? ()</p> <p>永東 友宏: ビッグフレンド感 出るでしょ? ()</p> <p>石田 将也: おお… ハハ ()</p> <p>永東 友宏: で? 何か悩んでるの? 何でも話してみなよ。俺たち 親友なんだから ()</p> <p>石田 将也: 永東くん あのさ。友達… の定義って何だろ。何ていうかほら。友達になる権利とか資格とか そういうのって… ()</p> <p>永東 友宏: ねえ やーしょー手のひら 出して。これが友達だよ。俺あさ石田くん。友情ってのは言葉や理屈。それらを超えた所にあると思うんだ。資格? そんなの要るもんか。くだらないね ()</p>

17	00:39:22 ~ 00:41:00	 <p>西宮 結弦: いません ()</p> <p>石田将也: ハ…い…いるよね? ()</p> <p>西宮 結弦: いません ()</p> <p>石田将也: え〜っと あの君… ()</p> <p>西宮 結弦: 俺 硝子と好き合ってるんで ()</p> <p>石田将也: あ… ヤベ落ちたわ。あッ 俺じゃないよ、パンのことね。へ…へえ〜あッ 西宮って年下が好きなんだ。へえ なんか意外。あ…これせっかくなんでパンだけでもいいパンなんで… ()</p> <p>西宮 結弦: あの、自分を満足させるためだけに来てるなら 帰ってください。もういいですか、では ()</p> <p>永東 友宏: おい 少年！俺のダチが西宮さんに会いたいつつってんだ ()</p> <p>石田将也: 永東くん？ ()</p> <p>永東 友宏: つべこべ言わずに出せや オラ！ ()</p> <p>石田将也: 永東くん なんでここに… ()</p> <p>永東 友宏: 追ってきた。親友にありがちだろ？</p>
----	---------------------	---

		(西宮 結弦: アッハ、クソの友達 は クソ頭 だったな。このウンコ野郎 (永東 友宏: は? 何なんです? おたく。もう 1 回 言ってみろやあ〜ッ! (石田 将也: ちょっと 永東くん (西宮 結弦: ウンコ頭 ウンコ頭 ウンコ頭! (女性 1: ちょっと あれ (女性 2: あら どうしたの? (女性 1: あれって 結弦ちゃん? (女性 2: やだ ちょっと ケンカ してるわよ (永東 友宏: このチビ! (石田 将也: 永東くん 永東くん (女性 3: あらあら… (永東 友宏: 訂正 しなさい! (石田 将也: もう やめよう ね? (
--	--	--

			<p>西宮 結弦: 臭うし! ()</p> <p>石田将也: 永束くん もういいよ 帰ろう。永束く… ()</p> <p>女性 2: あらぁあなた こないだの ()</p> <p>石田将也: いえ 違い… ます。永束くん ごめん! ()</p> <p>永束 友宏: 痛い痛い痛い痛い… ()</p> <p>西宮 結弦: ああッ しまった! ()</p>
18	00:41:01 ~ 00:42:24		<p>西宮 結弦: クッソ～ 会われた ()</p> <p>永束 友宏: やったな 石田くん。ん? おい 少年、貴様のぞき見してるだろ。俺にも見せろ! ()</p> <p>西宮 結弦: え～ ()</p> <p>永束 友宏: ん? 石田くんなんか手をヒラヒラやってる ()</p> <p>西宮 結弦: 手話じゃねえの? ()</p> <p>永束 友宏: 何だって!? すごいなあ石田くんには そんな特技が。ん? お前手話 分かるのか通訳しろ ()</p>

			<p>西宮 結弦: “さっきのウンコ頭 誰〜?” “全然知らない人” “え〜? キモ〜い” ()</p> <p>永東 友宏: ま・じ・め・に! ()</p> <p>西宮 結弦: 離せよ。 ()</p> <p>永東 友宏: 落ちるなよ 少年 ()</p> <p>西宮 結弦: “本当は会ってはいけないと思った。友達の意味をこの2週間ずっと考えていた。僕が君に会う理由探していた” ()</p> <p>永東 友宏: 石田くん… ()</p> <p>西宮 結弦: あ… “うれしい、私も同じこと考えてた。おかしいね” ()</p>
19	00:45:333 ~ 00:45:45	Di kamar Ishida Shouya	<p>将也の姉: 将也〜 ()</p> <p>石田将也: あ? ()</p> <p>将也の姉: ちょっと悪いんだけどさ〜あマリア お迎えに行ってくれない? ()</p> <p>石田将也: いや 俺自宅謹慎中なんですけど ()</p>

			<p>将也の姉: ちょっとぐらいいいよ。よろしくね ()</p>
20	00:46:04 ~ 00:47:28	Di taman bermain	<p>石田将也: マリア～そろそろ帰るぞ～ ()</p> <p>マリア: しょーたーん！何かいる～ ()</p> <p>石田将也: おい大丈夫か？ ()</p> <p>西宮 結弦: んあ… ()</p> <p>石田将也: お前… 西宮の彼氏だろ。風邪ひくぞ ()</p> <p>西宮 結弦: おう ネズミじゃないか ()</p> <p>石田将也: 何してんの？ こんなところで。靴は？ ()</p> <p>西宮 結弦: 怒らないの？ ()</p> <p>石田将也: 何を ()</p> <p>西宮 結弦: ネットにお前の画像 上げたの。俺なんだけど ()</p> <p>石田将也: ああ あれ お前？そっかあ～。よかったわ お前で ()</p>

			<p>西宮 結弦: は? 何それ ()</p> <p>石田将也: 理由は何となく分かるし、うん。 ()</p> <p>西宮 結弦: 怒れよ ()</p> <p>石田将也: いや 無理だよ。元は俺が悪いんだし。 ()</p> <p>マリア: しょーたん! おなかすいた~ ()</p> <p>石田将也: は~い。じゃあ俺 帰るわ。お前も早く帰れよ ()</p> <p>西宮 結弦: フッ お前 子供いんのか ()</p> <p>石田将也: 姉貴のだよッ ()</p>
21	00:47:42 ~ 00:48:02	Rumah Keluarga Ishida	<p>石田美也子: はい 結絃く~んた~くさん 食べなさ~い ()</p> <p>石田将也: ねえ 姉貴は? ()</p> <p>石田美也子: 今日は遅いんだって ()</p> <p>石田将也: ふ~ん... ()</p> <p>石田美也子: マリア 熱くない?</p>

			<p>()</p> <p>マリア: おいし〜い!</p> <p>()</p> <p>石田美也子: そ?</p> <p>()</p> <p>石田将也: 結絃くん 食べないの?</p> <p>()</p> <p>石田美也子: あッ 結絃くん</p> <p>()</p> <p>西宮 結弦: え?</p> <p>()</p> <p>マリア: あ〜ん</p> <p>()</p> <p>石田美也子: どうぞ〜</p> <p>()</p>
22	00:49:25 ~ 00:52:13		<p>石田将也: お前さ なんでも家出したの?</p> <p>()</p> <p>西宮 結弦: ケンカした 硝子と</p> <p>()</p> <p>石田将也: おッ あ…へえ〜 やっぱあれ? つ… 付き合ってる。お互い いろいろある的な</p> <p>()</p> <p>西宮 結弦: うん、硝子のシャンプー勝手に使ったから? お前なんて要ら ないって言われた</p> <p>()</p>

			<p>石田将也: エッ 君ら 同棲(どうせい)してんの? ()</p> <p>西宮 結弦: 傘 自分に差せよ。1本しかねーんでしょ? ()</p> <p>石田将也: いや 本数 間違えたの俺のミスだし。あと お前に風邪ひかれたら西宮に悪いし。 ()</p> <p>西宮 結弦: あのさあ何なの お前、偽善者なの? ()</p> <p>石田将也: エッ? ()</p> <p>西宮 結弦: 野良ネコ拾って気持ちよがってんの? 面白がってたんでしょ。耳が聞こえないからって面白がってたでしょねえ。で? 今更 手話 覚えたって? 何それ。なんか まともな人間にでもなったつもり? 気持ち悪いんだよ お前 ()</p> <p>石田将也: そっか。そりゃ 聞いているよな西宮から。うん… そう俺 最低な人間だから。本当は生きてちゃマズい奴だから。せめて…もう 西宮を泣かせたくないって思っただけで…ああッ あの 君たちの間を邪魔するつもりはないから、それはないから。でも これは俺自身のことでもあるんだ ()</p> <p>西宮 結弦: ここで ()</p> <p>石田将也: おう ()</p>
--	--	--	--

			<p>西宮 結弦: あそうだ。信じ込んでじゃってるとこ大変 申し訳ないんだけど、俺 硝子の…だから(小指を現れる) ()</p> <p>石田将也: ハッ… えッ? 妹さん!? ()</p> <p>西宮 結弦: じゃ ()</p> <p>石田将也: あ… ハアッ ()</p> <p>西宮 結弦: ん? ()</p> <p>石田将也: あッ 西宮さんのお母さ…(平手打ちされた) ()</p> <p>西宮 結弦: お… ()</p> <p>西宮八重子: 行くわよ ()</p> <p>西宮 結弦: ちょっ痛えんですけど(引っ張られた) ()</p> <p>石田将也: すみませんでした ()</p>
23	00:52:21 ~ 00:52:47	Rumah Keluarga Nishimiya	<p>西宮 結弦: ただいま～ ()</p> <p>西宮 硝子: ゆじゅう! ()</p>

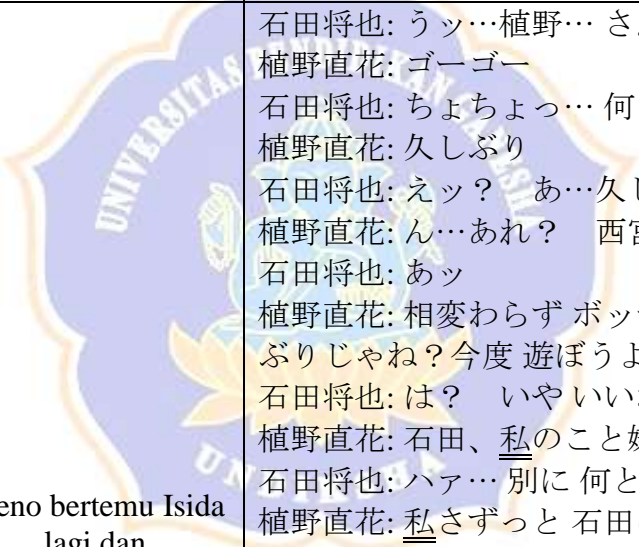
			<p>西宮 結弦: わあッ 姉ちゃん… ()</p> <p>西宮 硝子: ごめんなたい ごめんなたい ()</p> <p>西宮 結弦: 俺のほうこそ ごめん。ああ ねえ、しそジュース飲みたいばあちゃんの。 ()</p> <p>西宮八重子: 結弦、あんな子と付き合っちゃダメよ。硝子にも言っといて。 ()</p> <p>西宮 結弦: そんなの自分で決めるよ。俺も姉ちゃんも。 ()</p>
24	00:52:50 ~ 00:53:09		<p>永東 友宏: おお 少年！元気してるか？ おい。今日はまた どうしたよ？ ()</p> <p>西宮 結弦: 借りた傘 返しにきたんだよ ()</p> <p>永東 友宏: おッ 少年、なかなかちゃんとしてるじゃないか ()</p> <p>石田将也: あッ…永東くんその子 少年じゃないよ ()</p> <p>永東 友宏: えッ？ ()</p> <p>石田将也: 西宮の妹 ()</p>

			永東 友宏: フ…まあ知ってましたけど? (結弦から離れて) (_____)
25	00:53:14 ~ 00:54:03		永東 友宏: いつも俺のやーしょーがお世話になってます。 (_____) 石田将也: 友達のながつか。あ…俺携帯 買ってもらったんだ。え～とあ…西宮も携帯 持ってるよな。メ…メールとかやってんの? 友達と? 今の学校の (_____) 西宮 硝子: (Mengangguk) 石田将也: へえいいね。ほかにメールしたい相手 いる? えっと～メアド 知りたい奴。 (_____) 西宮 硝子: (Mengangguk) 石田将也: あッ そう。教えようか? 俺の…何? (melihat bahasa isyarat Nishimiya) “さ は ら” (berbicara menggunakan bahasa isyarat) 佐原さん って小学校の? (_____) 西宮 硝子: (Mengangguk)
26			永東 友宏: やーしょー やーしょー 石田将也: ん? 永東 友宏: で? 佐原さんとやらに会いに行くのかい? (_____)

	<p>00:54:10 ~ 00:54:50</p> <p>00:</p>	<p>Deskripsikan konteks peristiwa tutur ini ya.</p> <p>Ishida bertanya kepada kawai</p> <p>Deiksis tempat</p>	<p>川井みき: (berbicara dengan teman lain) もう やだあ <u>そんなこと</u> ないよお (_____)</p> <p>真柴智: でも川井さんってしっかりしてると思うけど? (_____)</p> <p>石田将也: 川井… さん (menghampiri)</p> <p>永東 友宏: やーしょー</p> <p>川井みき: でも 真柴くんって…</p> <p>石田将也: (memotong pembicaraan) 川井さん yang dimerahi bisa dihilangkan</p> <p>川井みき: あッ 何?</p> <p>石田将也: あ…聞きたいことが。 <u>小学校の時</u> 一緒だった…佐原さんの連絡先知ってたりする? (_____)</p> <p>川井みき: 佐原さん? ごめん 知らない。あッ でも <u>学校</u> なら分かるよ。直ちゃんが同じだから。 (_____)</p>
--	---------------------------------------	---	---

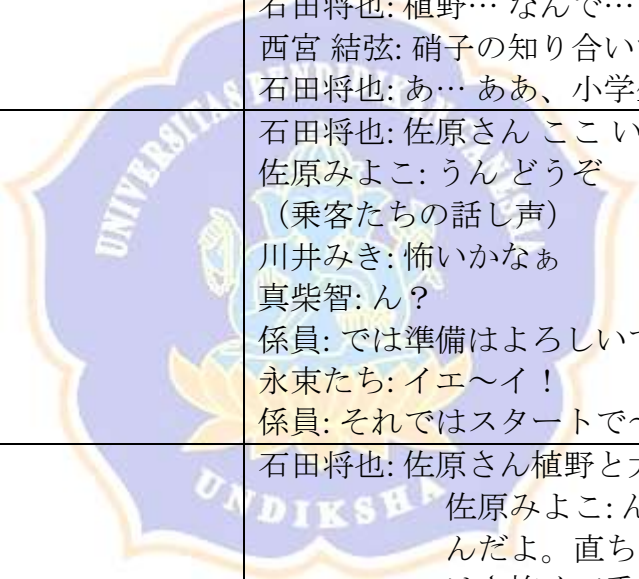
27	00:54:52 ~ 00:	<p>Naga memberi uang kepada isida</p> <p>Nisimiya menyapa Ishida Dan memintanya untuk mengajak siapa ?</p>	<p>石田将也: (membaca kereta tujuan)太陽女子学園…(membuka dompet)わッ金ヤバ 永東 友宏: 石田くん、(memberi uang)<u>これ</u>を使いたまえよ。 石田将也: あッ 何これ、そんなに要らないよ。 永東 友宏: 気にすんな やーしょー。交通費 お食事代ラブホ代と考えたら<u>これくらい</u>あったほうが安心だろ？ () 石田将也: は？</p> <p>西宮 結弦: (menyapa) お〜い、連れてきたぞ〜。<u>姉ちゃんが自分のこと</u>なのに放置されてクソムカつくって。悪いけど連れて行ってやってくれ石田。 () Mitra tuturnya ?</p>
28	00:56:30 ~ 00:57:51	Sahara bertemu Shouya	<p>佐原みよこ: しょーちゃん!? 石田将也: えッ? (berhenti mendadak) うッ う… ごごめん 佐原みよこ: しょーちゃん! 私 佐原だよ! 覚えてる? フッ ヤッ! あれ石田くん? () 佐原みよこ: (menggunakan bahhasa isyarat) 久しぶりだよね?</p>

			<p>西宮 硝子: (membalas dengan bahasa isyarat) 佐原みよこ: <u>あれから</u> 勉強してたの。 <u>これ</u> 合ってるのかな? 西宮 硝子: (mengangguk) 佐原みよこ: 途中でいなくなって…ごめんね。ずっと気になってたんだしよーちゃんのこと。会えてうれしい、びっくりした。 ()</p> <p>西宮 硝子: (membalas dengan bahasa isyarat) 佐原みよこ: うんうん。エッ ホント? 佐原みよこ&西宮 硝子 : (tertawa bersama) 佐原みよこ: しよーちゃんはどんな高校 行ってるの? 西宮 硝子 : (membalas dengan bahasa isyarat) 佐原みよこ: へえ~そういえば胸元 おつきくなつたよね、何カップだろ? 確かめてやるう! ()</p> <p>石田将也: (beranjak pergi) 佐原みよこ: どうしたの? 石田将也: いやちょっとトイレ行ってくるわ 佐原みよこ: うん 分かった</p>
29	00:59:02 ~ 01:00:01	Naga bertanya ke shoya apa yang diharapkan datang ke klub ini	<p>石田将也: よし、入ろうか 永東くん 永東 友宏: いざ、にゃんにゃん倶楽部へッ 女性店員: いらっしやいませ~お時間どうなされますか? 石田将也: い… 1時間で。あわわ… 割引券使います 女性店員: は~い、ありがとうございます 石田将也: 何というか まあ… 永東 友宏: <u>君</u>は何を期待していたんだい?</p>

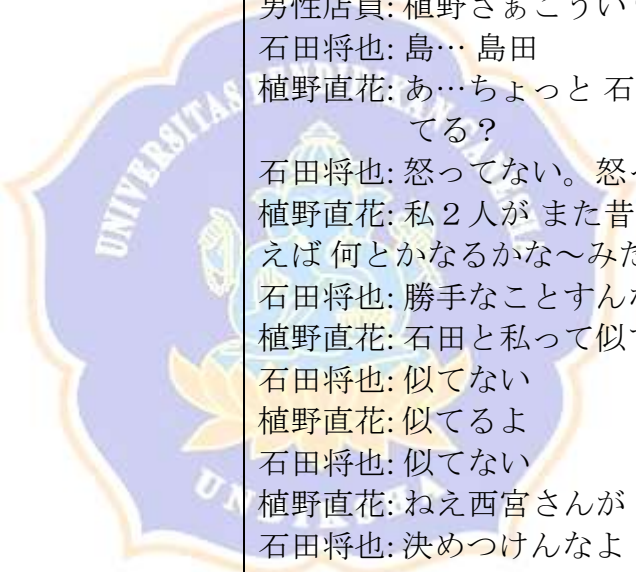
			<p>石田将也: エッ き… <u>君</u>こそ何を 永東 友宏: バカを言ってくれるなよ。純粋な気持ちで君の友達に会いに来ただけさ。そッ 君の友達いるのかい? 石田将也: 正確には友達じゃないけど 永東 友宏: とは? 石田将也: 小6の時 いろいろあって実は結構 気まずい…いないっぽい 石田将也&永東 友宏: 帰ろっか</p>
30	01:01:06 ~ 01:	 <p>Ueno bertemu Isida lagi dan mengajaknya untuk bermain</p>	<p>石田将也: うッ…植野… さん? 植野直花: ゴーゴー 石田将也: ちょちょっ… 何? 植野直花: 久しぶり 石田将也: エッ? あ…久しぶり 植野直花: ん…あれ? 西宮じゃね? 石田将也: あッ 植野直花: 相変わらず ボッチなんだ。かわいそ～。てか 石田マジで久しぶりじゃね? 今度 遊ぼうよッ 石田将也: は? いやいいわ 植野直花: 石田、<u>私</u>のこと嫌いっしょ? 石田将也: ハア… 別に 何とも 植野直花: <u>私</u>さずっと 石田に声かければ よかったって思ってたんだよね、ごめんね 小学校ん時 石田将也: あ 植野 降りて 植野直花: あ…エッうちの店のポーチじゃん。なんで持ってんの? 怖ッ 石田将也: <u>俺</u>があげた</p>

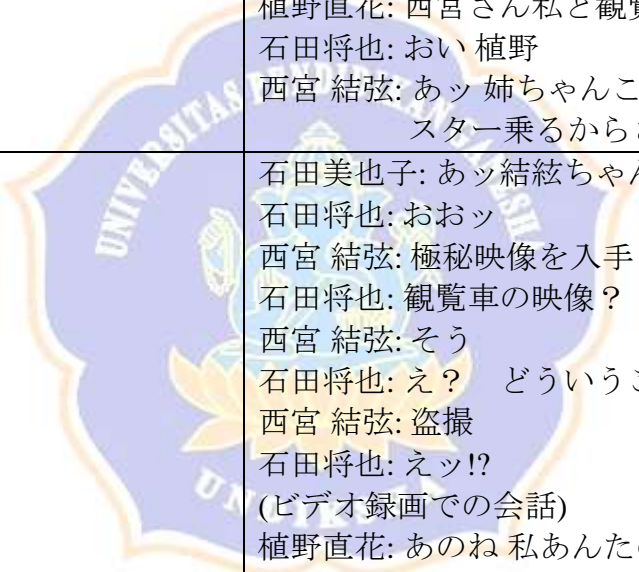
		<p>Ishida memberi apa ?</p> <p>Ueno berusaha merebut apa yang dilempar isida. Dan bertanya apakah ishida pacaran dengan Nishimia</p>	<p>植野直花: あ… そ？ 石田将也: じゃあな 植野直花: は～い 石田将也: (Ueno mendahului Ishida) え… 植野？ 植野直花: 西宮さん 久しぶりい元気だったあ？ (mengambil alat pendengar milik Nishimiya) 石田将也: お… おい！ 植野直花: 何？ 1個しかないの？ 石田将也: 植野 何やってんだよ 植野直花: は？ 投げて遊ぶの 昔みたいに 石田将也: (merebut dan mengembalikan alat pendengar ke Nishimiya) ごめん 西宮 植野直花: (merebut kembali) ウツソ冗談でしょ 石田あ。えッ？ ちょっと待って、<u>あんたたち</u> もしかして付き合ってるの？ 石田将也: そんなワケないだろ。と… 友達だよ 植野直花: 友達… 何<u>それ</u> ウケる。いじめてた<u>奴</u>と友達？ なんて、無理無理 ヤバ～い。あッ もしかして罪悪感的な？ 石田将也: 違うよ 植野直花: あ～石田 ダサくなったわ～。まッ せいぜい 友達ごっこ やってろ～ 西宮 硝子 : (membalas dengan bahasa isyarat) 石田将也: “何話してたか” って？ん… 何でもないよ。じゃあ そろそろ帰るわ。また</p>
--	--	--	---

31	01:08:21 ~ 01:08:44	<p>Ishida bertanya kepada Kawai kenapa ubah gaya rambut.</p> <p>Kawai berbisik kepada Isida</p>	<p>石田将也: あの川井さん髪形 なんて変えたの? 川井みき: え～ なんて? 特別な理由なんてないんだけどな 石田将也: へえ… 川井みき: 女の子って <u>そういうもん</u>なんだよ 石田将也: そっか 川井みき: (berbisik) 石田将也: え… 何? 川井みき: <u>この間</u> 真柴くんがね石田くんと友達になりたいって言ってたよ 石田将也: え?</p>
32	01:09:04 ~ 01:09:38		<p>石田将也: なあ <u>今日</u> 西宮は? 西宮 結弦: おなか痛いって帰った 石田将也: えッ <u>俺</u> 避けられてんのかな 西宮 結弦: なんて? 石田将也: <u>この間</u> 西宮が一生懸命 言ってることをうまく聞き取れなくてさ 西宮 結弦: <u>姉ちゃん</u> 何て言ったんだ? 石田将也: すき 西宮 結弦: プッ 石田将也: とても簡単な言葉なのに理解してあげられなかった 西宮 結弦: へえ～そりゃ ムカついただろうな。まあ避けられてるかどうか気になるなら遊びにでも誘ってみれば? イヤなら断るだろうし 石田将也: あ…そっか</p>

33	01:09:59 ~ 01:10:26		<p>川井みき: みんなまずあれに並ぶよ。はぐれないようについて来てね! 永東 友宏: なんであの女子仕切ってるの? 石田将也: さあ 西宮 結弦: 石田 石田将也: ん? 西宮 結弦: あいつ何?なんかやけになれなれしいんだけど 石田将也: 植野…なんで… 西宮 結弦: 硝子の知り合いだっけ? 石田将也: あ…ああ、小学生の時の</p>
34	01:10:32 ~ 01:10:42		<p>石田将也: 佐原さん ここいい? 佐原みよこ: うん どうぞ (乗客たちの話し声) 川井みき: 怖いかなあ 真柴智: ん? 係員: では準備はよろしいですか~? 永東たち: イエ~イ! 係員: それではスタートで~す!</p>
35	01:10:44 ~ 01:11:24		<p>石田将也: 佐原さん植野と大丈夫だったっけ…? 佐原みよこ: ん?ああ うん。同じ学校で同じデザイン科なんだよ。直ちゃんのセンス勉強になるんだあ。小学生の頃はさ怖くて乗れなかったんだ・弱虫だったからね。でも少し見方変えてみた。怖いかどうかは乗ってから決めることにしたの、やっぱまだ怖いけどね 石田将也: ヘッ? 佐原みよこ: あッ 来るよ</p>

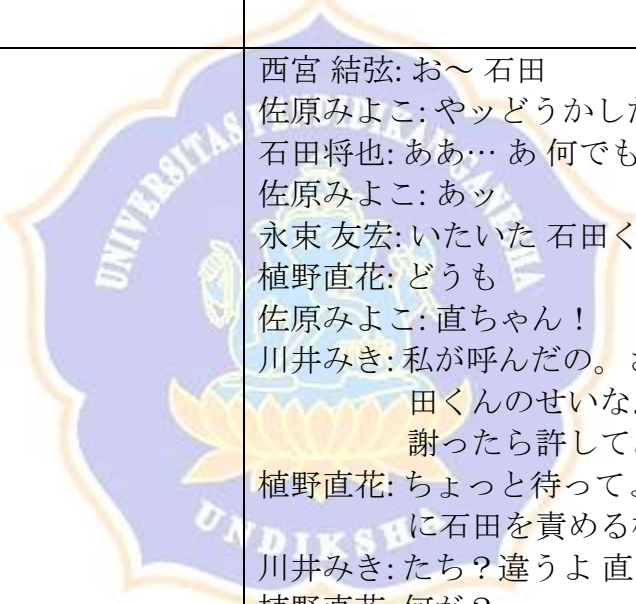
36	01:11:46 ~ 01:12:28		<p>佐原みよこ: あ〜ッ 大変 大変。しょーちゃん脚 カクカクだよ 石田将也: (手話) ん… 大丈夫? 真柴智: すごいな 手話できるんだ? 川井みき: 手話 頑張ったんだね 石田くん 石田将也: えッ? 永東 友宏: おい! この手は君のかッ、俺のやーしょーに 失礼な奴だな 真柴智: え? 普通に仲よくしたいんだけど 永東 友宏: ダメだ 甘ったれるな! 川井みき: もう 永東くん ウケるう 永東 友宏: やーしょーに近づくには俺の許可が要るから! 真柴智: 永東くんの頭それ本物? 川井みき: キャハハッ 永東 友宏: やッ やめろ〜! 真柴智: ハハッ 永東 友宏: おいッ ちょっと… 触るな 石田将也: (将也の声) あれ?</p>
37	01:12:31 ~ 01:12:51		<p>川井みき: 真柴くん 逃げて〜! 永東 友宏: 行け〜 やーしょー 抜け〜! 石田将也: (将也の声) あれ? (乗客たちの絶叫) 石田将也: (将也の声) いいのか? 俺が こんなに楽しんで…でも これっ てなんか…あれっぽい 西宮 結弦: ぐうッアハハッ 何やってんの 石田将也: (将也の声) ほら 何ていうか…友達っぽい…!</p>

38	01:12:59 ~ 01:15:19	 <p>植野直花: 石田 石田将也: ん? 植野直花: 私 たこ焼き食べたい、一緒に買いに行こ 石田将也: えッ おいおいちよ… ちよつと 男性店員: たこ焼き お待たせしましたあ 石田将也: どうも 男性店員: 植野さあこういう おせっかい要らないから 石田将也: 島… 島田 植野直花: あ…ちよつと 石田? あ…ごめん またメールする。石田! 怒ってる? 石田将也: 怒ってない。怒ってはない 植野直花: 私 2人がまた昔みたいに仲よくなれたらって思っただけ。会えば何とかなるかな~みたいなの? 石田将也: 勝手なことすんなよ。あッあれ? 俺も おんなじことした… 植野直花: 石田と私って似てるよね 石田将也: 似てない 植野直花: 似てるよ 石田将也: 似てない 植野直花: ねえ西宮さんがいなければみんなハッピーだったよね 石田将也: 決めつけんなよ 植野直花: だってそうでしょ? あの人がいなかったら私と佐原が気まづくなることもなかったし。石田と島田の仲が壊れることもなかった。私 西宮さんが来る前に戻りたいんだけど… 石田将也: 島田と俺は、俺が勝手に そうしただけだ 植野直花: 石田 私のこと嫌い?</p>
----	---------------------	---

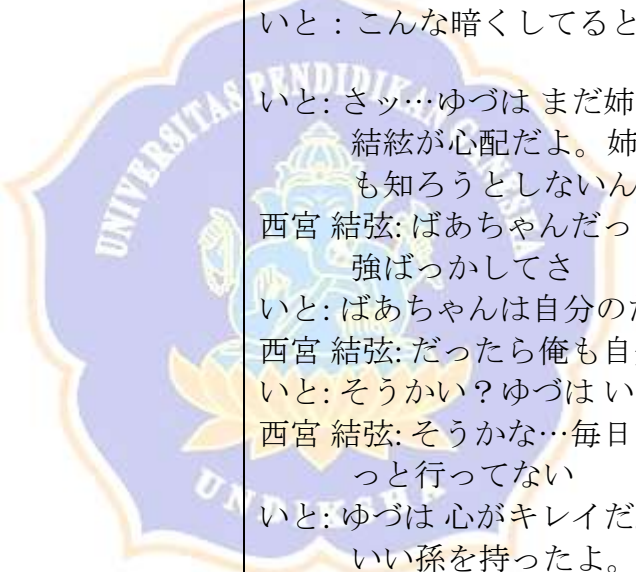
			<p>石田将也: たぶん 植野直花: あッ私 観覧車 乗りたいかも 石田将也: は? 植野直花: 西宮さんと乗ろ〜っと 石田将也: え? おいッ 西宮 結弦: お? 植野直花: 西宮さん私と観覧車 乗ろう 石田将也: おい 植野 西宮 結弦: あッ 姉ちゃんこれ持ってってよ。俺 もう1回ジェットコースター乗るからさ</p>
39	01:15:40 ~ 01:18:25		<p>石田美也子: あッ結絃ちゃんいらっしゃい。将也なら上にいるわよ 石田将也: おおッ 西宮 結弦: 極秘映像を入手した 石田将也: 観覧車の映像? 西宮 結弦: そう 石田将也: え? どういうこと? 西宮 結弦: 盗撮 石田将也: えッ!? (ビデオ録画での会話) 植野直花: あのね 私あんたのことが嫌い。それはやめよ。あんたが分かるようにゆっくりしゃべるし。あんたの声もちゃんと聞くから。小学校の時さ、私はあなたへの理解が足りてなかった。でもあなたも私のこと理解しようとしてなかったよね。だから空気も読まずに変なノート渡して、いつもヘラヘラして、何かあったらすぐ「ごめんなさい」って。だから私やり方変</p>

			<p>えたの。あなたのこと無視したり悪口も言った。「もう近づかないで～」っていうサインだよ。なのにあなたはそれを理解もしないでやり返した。大人たちにチクってね。そのせいで石田は友達をなくしたの。私たちの周りのいろんなものが壊れた</p> <p>西宮 硝子: ごめんなた…</p> <p>植野直花: 別に私は謝ってほしいわけじゃないの。あの頃はお互い必死だったし。今思えばしかたなかったことかなとも思う。でも今更 仲よくしましょうなんて話をするつもりはない。今でも私はあんたが嫌いだし。あんたも私が嫌い。だからね これからは穏やかにいかない? 嫌いな者同士さ 握手</p> <p>西宮 硝子: ち… ちがいまちゅ。わたちはわたしがきらいでつ</p> <p>植野直花: 何それ。何だよ それ。で? だから? でまた「ごめんなさい」? 結局さあんたは 5年前も今も私と話す気がないのよッ (タップする音)</p> <p>西宮 結弦: どう思う?</p> <p>石田将也: え… ああ うん。西宮には、西宮のこと好きになってもらいたいよ</p>
40	01:18:31 ~ 01:20:13		<p>真柴智: 植野さん だっけ?</p> <p>石田将也: ああ 植野</p> <p>真柴智: あの 人 西宮さんと何かあったの?</p> <p>石田将也: え? なんて</p> <p>真柴智: 小学生の頃いろいろあったって 川井さんが、西宮さんってさ本当に耳 聞こえないんだね</p> <p>石田将也: ああ</p>

		<p>真柴智: あッもしかしてそれが原因でいじめられてた…とか?許せないんだよなあ僕そういうのね? 石田くん</p> <p>川井みき: えッ どういうこと?私が昔のこと言いふらしてると言ってるの?</p> <p>石田将也: ちょ… ちょっと声がおっきいよ</p> <p>川井みき: 結局 石田くんは何も変わってない</p> <p>石田将也: えッ?</p> <p>川井みき: 小学校の頃からひどいことばかり</p> <p>永東 友宏: どうした? やーしょー</p> <p>石田将也: 川井さん 落ち着いて</p> <p>真柴智: 何の話?</p> <p>川井みき: 真柴くん 石田くんはね昔 ある女の子をいじめてたの</p> <p>永東 友宏: 何言ってんの 川井さんそんなこと あるわけ…</p> <p>川井みき: ホントのことだもん!</p> <p>石田将也: か… 川井さんだって悪口を…</p> <p>川井みき: 私は西宮さんの悪口なんて言ってない</p> <p>真柴智: えッ 西宮さんを?</p> <p>川井みき: そう、石田くんは西宮さんをいじめてたの!私はね止めたんだよ石田くんのこと。でも石田くん聞いてくれなかった。すごく怖かったの…</p> <p>石田将也: ハア…</p> <p>永東 友宏: やーしょー…</p> <p>石田将也: う…</p> <p>永東 友宏: だいじょ…</p>
--	--	---

			<p>石田将也: ごめん 永東くん 永東 友宏: やーしょー…やーしょー！</p>
41	01:20:43 ~ 01:20:45		<p>石田将也: (将也の声) 俺も俺が嫌いだ</p>
42	01:20:57 ~ 01:24:21		<p>西宮 結弦: お～ 石田 佐原みよこ: ヤッどうかしたの？ 石田将也: ああ… あ何でもない。ハ… ホントに 佐原みよこ: あッ 永東 友宏: いたいた 石田く～ん。カバン持ってきたよ～ 植野直花: どうも 佐原みよこ: 直ちゃん！ 川井みき: 私が呼んだの。さっきは ごめんなさい。でも…本を正せば石田くんのせいなんだから。だけどね、石田くんが西宮さんに謝ったら許してあげれば？って。真柴くんが言うから 植野直花: ちょっと待ってよ。それっておかしいよね。その件で私たちに石田を責める権利ないでしょ？ 川井みき: たち？違うよ 直ちゃん 植野直花: 何が？ 川井みき: 私と違って直ちゃんは積極的に西宮さんをいじめてた。一緒にしちゃいけないよ 佐原みよこ: 直ちゃん… 植野直花: あ～うん 違う。まったく違う。笑って同調してただけのあん</p>

		<p>たとはね！</p> <p>川井みき: ひどい！</p> <p>植野直花: どう思う？ 佐原</p> <p>佐原みよこ: えッ 私？</p> <p>川井みき: 直ちゃんは 佐原さんの悪口もいっぱい言ってたんだよ</p> <p>植野直花: ホントのことしか言ってねえよ！なあどうなの？ 佐原ッ</p> <p>佐原みよこ: わ… 私は…私は あの頃2人とも怖かったよ</p> <p>植野直花: はあ？ どっちの味方なんだよ</p> <p>佐原みよこ: どっちの味方でもないよ</p> <p>石田将也: やめろ。俺が… 全部 悪いから</p> <p>植野直花: その理屈は嫌い</p> <p>石田将也: 植野、自分勝手に何でもかんでも決めつけんなよ</p> <p>植野直花: ん…</p> <p>佐原みよこ: 石田くん そんな言い方…</p> <p>石田将也: 佐原 やめろ。どうせ また逃げて後悔すんだろ「弱虫だ」って</p> <p>佐原みよこ: ハアッ</p> <p>川井みき: どうしちゃったの？ 石田くん</p> <p>石田将也: 川井 シャベるな昔から お前は自分が かわいいだけなんだよ</p> <p>川井みき: ハアッ</p> <p>永東 友宏: やーしょー俺は お前の味方だから</p> <p>石田将也: 俺のこと よく知りもしないくせに味方とか言ってんじゃねえ</p> <p>川井みき: もうイヤ！ 私 帰るッ</p> <p>永東 友宏: やーしょー大丈夫俺は気にしてないからな</p> <p>佐原みよこ: しょーちゃんまたね</p> <p>植野直花: ごめん 石田。私 来なきゃよかったな</p>
--	--	---

			<p>真柴智: 石田くん ひどすぎるよ 石田将也: 部外者のくせに 口挟むなよ 真柴智: 友達になれたと思ってた 石田将也: (手話) ああ そうだ、来週から夏休みだろどっか 遊びに…</p>
43	01:24:41 ~ 01:26:01		<p>いと: ゆづ 西宮 結弦: ん? いと: こんな暗くしてると目え悪くするよ いと: さッ…ゆづはまだ姉ちゃんのことを心配なのかい? ばあちゃんは結弦が心配だよ。姉ちゃんのことばっかで。自分のことはちっとも知ろうとしないんだから 西宮 結弦: ばあちゃんだって一緒じゃん。老人会も行かないで手話の勉強ばっかしてさ いと: ばあちゃんは自分のためにやってることだからいいんだよ 西宮 結弦: だったら俺も自分のためにやってることだよ いと: そうかい? ゆづはいい子だよ 西宮 結弦: そうかな…毎日 お母さんに叱られてばっか。学校だってずっと行ってない いと: ゆづは心がキレイだ。硝子も頑張ってる。ばあちゃんはホントにいい孫を持ったよ。まんじゅうも食べな 西宮 結弦: 食べる!</p>

44	01:26:31 ~ 01:29:03	 <p>石田将也:(自分で話す)よう 西宮 元気?今日 とてもいいパンが手に 入ったんだ。このパンは君みたいにいいパンなんだ。だから …何だそりゃ</p> <p>石田将也: あれ?今日は来ないのかな。えっと(メールします)「また おなか痛いのか?」いや変か</p> <p>石田将也:お~い ゆづ… (近づく足音)</p> <p>石田将也: 帰るか</p> <p>西宮 結弦: 石田</p> <p>石田将也: あッ</p> <p>西宮 結弦: よう!</p> <p>石田将也: 何 その格好</p> <p>西宮 結弦: 何って制服じゃん。どうでい? どうでい?</p> <p>石田将也: なんで?</p> <p>西宮 結弦: 学校だよ!ていッ</p> <p>石田将也: え…今夏休みじゃないのか?どうしたのか? マジで</p> <p>西宮 結弦: どうもしないよ。あえて言うなら コスプレ?おッ姉ちゃんか らだ。俺行かねえと</p> <p>石田将也: 送るよ どこ?</p> <p>西宮 結弦: えッいいって</p> <p>石田将也: 送る</p> <p>西宮 結弦: ホントにいいって</p> <p>石田将也: 泣いてただろ さっき。なんで?</p> <p>西宮 結弦: 石田には関係ないことだよ</p> <p>石田将也: 関係ある…と思いたい</p>
----	---------------------	---

			<p>西宮 結弦: なんで 石田将也: 結絃が心配だから 西宮 結弦: うちのばあちゃんみたいなこと言うなよ。勝手にすれば</p> <p>西宮 結弦: ありがと 石田。ここままでいいよ。じゃ 石田将也: 頑張れ 結絃 西宮 結弦: 石田、やっぱ怖い</p>
45	01:31:00 ~ 01:32:00		<p>石田将也: わッすげえ。西宮 行ってみようぜ。西宮? えッ? うわわ… 西宮 硝子: うッあッ 石田将也: アハハ… ビビったあ 西宮 硝子: (手話で話す) 石田将也: え? なんで謝んの? 西宮 硝子: (手話で話す) 石田将也: う…そんなわけねえじゃん! なあ 西宮 明日は? 明日も遊ぼう な? 西宮</p> <p>石田将也: (将也の声) 西宮は「私と一緒にいると不幸になる」と言っ た。西宮を不幸にしたのは…俺なのに</p>
46	01:32:36 ~ 01:34:29		<p>石田将也: 西宮~! おう 今日結絃も一緒だな。よしッ 映画でも行くか 石田将也: ハハハハ 面白えなあ!</p> <p>石田将也: よッ 来ちゃったぜ</p> <p>石田将也: いや~今年の夏休みは楽しいな。な? 結絃</p>

西宮 結弦: 知らねえよ

石田将也: いやすっげえ充実感だわマジで。あッなあ 西宮明日はどこ行く? 明日もどっか行こう

西宮 結弦: ダメだよ 明日は予定ある。何?

西宮 硝子: (手話で話す)

西宮 結弦: ええ!? 正気かよ 姉ちゃん

石田将也: 何 作んの?

石田将也: いいの? これ…俺がここにいの合ってる?

西宮 結弦: 石田には俺たちの母親の誕生日ケーキを作る任務が課せられた

石田将也: えッ! だ…大丈夫なのか? またビンタされない?

西宮 結弦: いやそれどころか殺されるかもな

石田将也: お〜い…

将也・結弦: おおッ うまそ〜!

(ドアが開く音)

西宮 結弦: あッ

西宮八重子: 何してるの? なんでこの子がいるの。硝子 あなた何のつもりなの? 帰りなさ…

西宮 結弦: まあまあまあ お母さんいいじゃんおめでたい日なんだからさ

西宮八重子: 結弦…


西宮 結弦: 似合ってるよ

石田将也: ハア…

			<p>西宮 結弦: うまッ。何とか殺されなくて済んだな 石田 石田将也: あ… うん 西宮 結弦: やったな 姉ちゃん 西宮八重子: そういえば 結絃、県のコンクールに写真 選んで応募しとい たから 西宮 結弦: え? 何それ 西宮八重子: しょーちゃんが出したいって 西宮 硝子:(手話で話す) 西宮 結弦: え~? 趣味悪い写真ばっかだぜ 西宮八重子: そうでもなかったわよ 西宮 結弦: 何だよ 2人して勝手に~。そういえば次の火曜日 花火大会 だぜ 石田 西宮 硝子:(手話で話す) 石田将也: いや 俺はいいよ 西宮 結弦: 行こうぜ</p>
47	01:34:43 ~ 01:37:22		<p>石田将也: ここでいいかな? 西宮 結弦: いいいい 西宮 結弦: あッ俺 焼きそば買ってくる。ついて来てよ (飲み物を注ぐ音) 石田将也: ありがとう。あッ この間家に呼んでくれてありがとう。おば さん… 西宮 硝子:(手話で話す) 石田将也: あッ うん。喜んでた… かな? 基本 無表情だったけど。 西宮 硝子:(手話で話す)</p>

			<p>石田将也: 6月7日ってもう過ぎてるじゃん。そっかあ、もう西宮は18歳なんだな。来年はちゃんと一緒にお祝いしような。ハ… あッ「一緒に」って言っちゃった</p> <p>西宮 硝子:(手話で話す)</p> <p>石田将也: あッ そっか。なるほどな! ハハッ そっか (西宮 硝子立ちます)</p> <p>石田将也: あッ どうしたの?</p> <p>西宮 硝子:(手話で話す)</p> <p>石田将也: え? 花火まだ終わってないのに?</p> <p>西宮 硝子:(手話で話す)</p> <p>石田将也: 「勉強」…そっか。あッ 俺 送るよ。でも…</p> <p>西宮 硝子:(手話で話す)</p> <p>石田将也: そっか。じゃあ またな</p> <p>西宮 結弦: あれ? 姉ちゃんは? あッ そうだ石田ちよっとカメラ取りに行ってくれ</p>
48	01:37:37 ~ 01:40:24		<p>(ドアを開ける音)</p> <p>石田将也: お邪魔しま〜す。あッ 暗。西宮〜? 入るぞ〜。あつたあつた。充電は… あるか? あッ こっから花火見える…あ? 西宮 いるじゃん。に… 西宮? 西宮? ちよ ちよ…ちよっと待って。何してんの。西宮? 西宮…!?</p> <p>(花火が打ち上がる音)</p> <p>石田将也: ハッ! 西宮ッ! うッ ぐあッ (物が落ちる音)</p>

		<p>石田将也: ハッ…西宮…！ハッ…硝子〜ッ!!</p> <p>石田将也: うッぐッくッ…くッ…なんで…なんで 西宮 (将也の力む声)</p> <p>石田将也: 西宮 柵ッ。柵 持ってぐッ… (将也の声) 神様…どうかもうひと振り俺に力をください。もう嫌なことから逃げたりしません。明日から…みんなの顔をちゃんと見ます。明日からみんなの声もちゃんと聞きます。明日から ちゃんとするから</p> <p>石田将也: うッ…に… 西宮ッ… (将也の声) あああの時つけた傷、俺ちゃんと謝ったっけ？ごめん。ごめんな 西宮。まだ怒ってる？あッしまったなあ、西宮に俺のこと どう思ってるのか聞いてけばよかった。ちなみに西宮 俺はさ…(西宮さんを引っ張る)ふッ！ ぐううッううッ！あああ〜！ぐあ〜ッ！ああッ…</p> <p>(石田将也落ちる・ノイズ・flashback)</p> <p>石田美也子: (こもった声) しょーちゃん、お姉ちゃんが パンケーキ焼いてくれたわよ</p> <p>マリア: マリア 花火 見るよ〜</p>
49	01:40:38 ~ 01:40:50	<p>石田将也: (将也の声) 冷た…温かい… (かすかに聞こえるサイレン)</p>

50	01:41:06 ~ 01:42:11		<p>西宮 結弦: ん… あッおばさんッ 石田美也子: あら 結絃ちゃん 西宮 結弦: やっと会えた。店 電話しても留守だし、面会もダメって言われたから 石田美也子: ああ それならもう大丈夫。今日から部屋 移動したのよ。一緒に行きましょ顔 見せてあげて 西宮 結弦: おばさん あの 硝子… 西宮八重子: 石田さん 石田美也子: 西宮さん…あの 西宮さん ごめんなさい。また こんな形でご迷惑をおかけして…あ… 西宮八重子: すみませんでした 石田美也子: やめてくださいッ。きっと息子が また硝子さんに何かしたんです。じゃなきゃ あんな… 西宮 結弦: おばさん、石田は うちのバカ姉ちゃんを助けてくれたんです。俺の監督 行き届きです。ごめんなさい… 石田美也子: ハアッ…どうか、どうか顔を上げてください。硝子ちゃんが無事で何よりです。結絃ちゃんも ね?お願いだから…</p>
51	01:42:14 ~ 01:43:58		<p>植野直花: なんで石田が傷つかねえといけねえんだよッ! 悲劇のヒロインぶってんじゃねえぞッ! 何か言えよ。「私は みんなに迷惑かけてとっても傷ついたので、自殺しようと思いました。ごめんなさい」か? とんだ思い上がりなんだよッ! おい 西宮お前 マジ害悪なんだよ。あんたみたいにテメエの頭ん中でしか物事 考えられねえような奴が いったばん腹立つんだよッ (たたく音) 植野直花: うッ…痛え。お前 誰だよッ</p>

		<p>(たたく音)</p> <p>植野直花: うッ うう…お前 西宮の母親か?</p> <p>西宮 結弦: やめ…</p> <p>植野直花: ちゃんと世話できねえんだったら、ガキなんて産むんじゃねえよッ!</p> <p>石田美也子: 何やってるの。やめなさい。やめなさいッ。なんで! 何してるのよ…</p> <p>西宮 硝子: あ…</p> <p>石田美也子: 硝子… さん?</p> <p>西宮 硝子: うう… ごめ…ごめんなた…ごめんなたいッ。うう…ごめんなたい!</p> <p>石田美也子: うッ…</p> <p>西宮 硝子: ごめん… なたい! (硝子の泣き叫ぶ声)</p>
52	01:44:06 ~ 01:44:31	<p>西宮八重子: 何してるの?</p> <p>西宮 結弦: これ見たら姉ちゃん 死にたいなんて言わなくなると思った。どうすればよかったの? (結絃の泣き声)</p> <p>西宮八重子: う…</p> <p>西宮 結弦: うう…</p> <p>(2人の押し殺した泣き声)</p>
53	01:45:06 ~ 01:46:04	<p>(引き戸を閉める音)</p> <p>永束 友宏: ふんッ 開つかねえ。押さえてやがる。あ 西宮さんいたの? あっち行かない? ジュース 奢っし</p> <p>永束 友宏: やーしょーとのこと聞いたよ</p> <p>西宮 硝子: (ノートに書きます)</p>

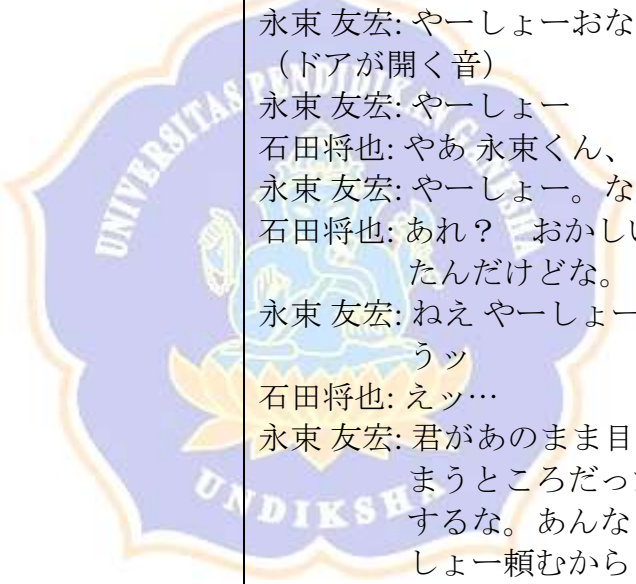
			<p>永東 友宏: それって橋でのこと? やーしょーはさ俺みたいな奴受け入れてくれたんだ。親友ってこういうものなんだって初めて知ったよ。やーしょーは僕のビッグフレンドだから目を覚ましてもらわなきゃ困る。</p> <p>西宮 硝子: (ノートに書きます)</p> <p>永東 友宏: あ…</p>
54	01:46:08 ~ 01:47:21		<p>川井みき: つらいから死ぬなんてどうかしてるッ!</p> <p>永東 友宏: 川井さん 声がデカイよ</p> <p>川井みき: 大きい声 出さないと聞こえないの 西宮さんには! みんな心配してたのよ…誰だって生きてればツライこともあるの。でもみんなそうでしょ? だから…自分のダメな所も愛して前に進んでいかなくちゃ</p> <p>真柴智: 無事でよかったね</p> <p>佐原みよこ: そっか、みんなの所行ってきたんだ。すごいね。私自信ないよ。もし石田くんが目覚めても私合わせる顔がない。私は変われなかった。しょーちゃんのことまた守れなかった。弱虫のまま</p> <p>西宮 硝子: こえから かあるしゃはらたん</p> <p>佐原みよこ: 来てくれてありがとう、しょーちゃん</p>
55	01:51:23 ~ 01:54:48		<p>石田将也: えッ 大丈夫?</p> <p>西宮 硝子: (手話で話す)</p> <p>石田将也: うん、よかった。無事で。西宮、俺 もう元気だよ大体は。そんな顔しないでよ、西宮。あ そうだ西宮さんごめんなさい。昔のことちゃんと謝ってなかったから。あと そのあとのこと</p>

			<p>とかもいっぱい。俺さたぶん君のこと都合よく解釈してた。もっと話がしたかったんだ、君と。たぶん それだけ。なのに俺は君を傷つけて結果 最悪な選択させちゃって</p> <p>西宮 硝子: ちあう…わだちがかあらなかったがらあなだがおちた…でんぶ…あだちのせい、わだちがいだぐなればいってごめんなたい… うう…</p> <p>石田将也: 泣かないでよ 西宮 (硝子の泣き声)</p> <p>石田将也: ねえ 西宮、俺 さっきまで君と話してた、夢の中で諦めようと思ってたみたい。いろいろ。でも違った。俺もずっと西宮と同じこと考えてたけど、それでも…やっぱり死に値することじゃないと思ったよ。みんなにもちゃんと謝りたい。あのさ 西宮、俺…君に生きるのを手伝ってほしい</p> <p>西宮 硝子: ハアッ…</p> <p>石田将也: 西宮…ハッ あれッ? キ… キモいことやっちゃったな。ヤバいッ うわ。ご… ごめんね忘れて 西宮。今の忘れて</p>
56	01:55:13 ~ 01:55:40		<p>石田美也子: お客さ〜ん 着きましたよ〜</p> <p>石田将也: お〜 マリアお花に水やってたのかあ、ハハッ 偉いなあ</p> <p>マリア: な〜!</p> <p>石田将也: おッ</p> <p>マリア: しぬ〜? しぬ〜?</p> <p>石田美也子: マリア、しょーちゃんは生き返ったんだよ〜</p> <p>石田将也: 死んでないよ〜 マリア</p> <p>石田美也子: あら植野さんじゃない?</p> <p>植野直花: あッ</p>

			石田美也子: あの子 ず~っと しょーちゃんの看病してくれてたのよ。お礼 言っときなさい
57	01:55:44 ~ 01:56:19		石田将也: お見舞い来てくれてたって… 植野直花: 私さ ダメな奴なんだ。こんな状態になって やっぱり。余計に西宮さんのこと好きになれなくてさ。ならなくてもいいのか…あッ 石田が落ちた時あんだのこと引っ張り上げたの島田たちだから。黙っとけて言われたけど。石田、おかえり。じゃ 帰るわ 石田将也: ありがとう
58	01:56:27 ~ 01:56:59		西宮八重子: やだ ちょっと切りすぎよ 石田美也子: これくらいのほうがかわいいわよ~。あッ しょーちゃんおかえり 西宮八重子: お邪魔してます 石田将也: あ… い… いらっしやいませ 西宮八重子: 石田くん 石田将也: はい! 西宮八重子: ごめんなさい 石田将也: あいや… こちらこそ 石田美也子: そうよ~ うちは無敵だから ペドロ: オカサ~ンマリア 迎エニ 行ッテクル 石田美也子: は~い 西宮八重子: 誰!?

			<p>ペドロ: コンニチワ、イラッシャイ 石田美也子: 上の子の旦那 帰ってきたの。あッ しょーちゃんゆづちゃん 上に来てるよ。冷蔵庫のゼリー 出してあげて。</p>
59	01:57:01 ~ 01:57:42		<p>(カーテンを開ける音) 西宮 結弦: よう 石田将也: お〜冬服? 似合ってるじゃん 西宮 結弦: 見たまえ 石田 石田将也: えッ? わッ マジかよ すぎえな! 西宮 結弦: そして これも見たまえ 石田将也: わッ マジかよ すぎえな… 西宮 結弦: 後生だ 旦那。俺に勉強を教えておくれよお 石田将也: おッ いいぜ (文字を書く音) 石田将也: 学校 行き始めたんだな 西宮 結弦: 硝子にきっかけ作ってもらった。まあ 何とかやってみるよ。 期待に応えたい。明日から学祭なんだって? 石田将也: ああ そうだよ</p>
60	01:57:52 ~ 01:58:19		<p>石田将也: (鏡の前に話す) お… おはよ みんな。元気だった? へへへ… ひどいこと言ってごめんなさい! ハア…よし!</p> <p>石田将也: ってきます 石田美也子: 頑張ってるね〜 石田将也: あッ それ、そういうふうにするんだったのか 石田美也子: 何?</p>

			<p>石田将也: ううんいってきま〜す マリア: いってらっしゃ〜い</p>
61	01:58:36 ~ 01:58:44		<p>石田将也: あッ おはよ 西宮 硝子:(手話で話す) 石田将也: 行こっか</p>
62	01:58:51 ~ 01:59:54		<p>男子生徒 1: あれ 石田じゃね? 女子生徒 1: ちょっと見た? 男子生徒 2: 誰? 女子生徒 2: 入院してた人でしょ? 女子生徒 3: あの飛び込みの? 石田将也: ああ… 西宮 硝子:(手話で話す) 石田将也: 初めて言うけどさ。俺 学校で浮いてるんだ 西宮 硝子:(手話で話す) 石田将也: なんか 人の顔見れなくてさ。だから 実は下向いてると 楽 西宮 硝子:(手話で話す) 石田将也: 「下向いてていい」 って? 石田将也: に… 西宮、俺 普通に歩く… よ。ありがとう 西宮。俺のクラ ス ここ 女子生徒 1: お湯って沸いた〜?</p>

			<p>女子生徒2:あとちょっと 女子生徒1:石田くん?石田くんじゃん! 男子生徒:わあもう大丈夫なの? 石田将也:へへへ…西宮、俺 ちょっと おなか痛いかも。ごめん</p>
63	02:00:10 ~ 02:03:47		<p>永東 友宏:やーしょー? 石田将也:えッ永東… くん? 永東 友宏:やーしょーおなかが痛いの? (ドアが開く音) 永東 友宏:やーしょー 石田将也:やあ 永東くん、おはよう 元気だった?この間は… 永東 友宏:やーしょー。なんで下向いてるの? 石田将也:あれ? おかしいな。本当はちゃんと顔合わせるつもりで来たんだけどな。ビビったかな 永東 友宏:ねえ やーしょー?石田くんッ!よかった 無事で。君が… ううッ 石田将也:えッ… 永東 友宏:君があのまま目を覚まさなかったら。僕の全てが終わってしまうところだった…!やーしょー、橋の上での… ことは気にするな。あんなこと生きてりゃ何度でもあるさ。だからやーしょー頼むから もう…遠くへ行かないでくれえ。お願いだからあ… 石田将也:永東くん…ごめん、ホントにたくさん。あとありがとう 永東 友宏:やーしょー 石田将也:あと…そのヒゲ どうしたの? 永東 友宏:願かけだよ君が 早く目覚めるようになって</p>

		<p>石田将也: 永束くん…</p> <p>石田将也: ヘッ? あッ どうしたの?</p> <p>真柴智: 石田くんの名前を叫んでる永束くんの声が聞こえたから</p> <p>石田将也: そっか</p> <p>真柴智: 川井さん石田くんに渡さないと持ってる?</p> <p>川井みき: う… 持ってきたけど、ダメだよ あんな出来損ない…</p> <p>真柴智: 別にいいじゃないか、渡そう</p> <p>川井みき: これ…本当はね千羽 集めたかったんだけど。集まらなくて、みんなに… 声かけたんだけど。ごめ…</p> <p>石田将也: あいや… いやすごいよ! これで十分。俺 こんなのもらったことないから。すごいうれしいマジで。ありがとう 川井さん、あとごめん真柴くんも</p> <p>真柴智: いや君はすごいよ</p> <p>植野直花: う〜わキッモ。友情ごっこかよ鳥肌 立ったわ</p> <p>川井みき: なんで直ちゃんはそんな言い方するの?</p> <p>植野直花: は? 何だよ 川井っち、やんのか?</p> <p>佐原みよこ: ちょっとちょっと 2人とも。あッ 石田くん…ごめんね 石田くん。石田くんが大変だったっていうのにまるで変わってない</p> <p>石田将也: そんな…俺だって…</p> <p>植野直花: そんな深刻な話してねえよ</p> <p>西宮 硝子: (手話で話す)</p> <p>植野直花: また謝った。まッ それがあんたか。(手話で話す) バ〜カ</p> <p>西宮 硝子: ハアッ…! バカ。バ〜カッ</p>
--	--	---

			<p>植野直花: あ…</p> <p>西宮 硝子: プヒヒッ</p> <p>植野直花: ああもう 知らんッ。から揚げ 食べに行こうっと</p> <p>川井みき: 逃げた</p> <p>佐原みよこ: 照れたんだよ</p> <p>石田将也: あのさみんなにお願いがあるんだけどいいかな? みんなで一緒に文化祭 見て回りたい</p>
--	--	--	---

